

## 令和6年度「#あおばな in 船沢中学校」開催概要

県内の中学生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年10月9日（水）13：30～14：45

○場所：弘前市立船沢中学校 体育館

○参加生徒：全校生徒 41名

### <生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①地域交通のDX
- ②青森県の伝統工芸品の海外PR
- ③短命県返上に向けた取組
- ④農業の担い手対策
- ⑤若者定着還流に向けた取組

上記に係る意見交換の後、約30名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・ 誰もが理想を思い描くことはできるが、なぜそれが実現できていないのか、どうすれば実現可能なのかを具体的に考えることが大事。自分自身に何ができるかを考え、行動することを大切にしてほしい。
- ・ 人手不足の今、一人ひとりが一生懸命頑張れば、自分の夢を叶えるチャンスが広がる。
- ・ 故郷である青森に戻ってきて思うことは、青森県も世界の一部だから、青森県でも世界を変えられるということ。皆さんがSNSやテレビなどを見て、都会に魅力を感じるのとは自然なことだし、東京や海外に行くことも一つの道だけれど、故郷を思う気持ちを忘れないでいれば、芯の強い人間になれる。
- ・ 私たちが生きる世界は、試験のように答えが決まっていることはなく、答えがない問題ばかり。だからこそ、対話をして、みんなが納得のいく答えを見つけ出すことが大切。学校や家庭、社会の中で壁に当たっても、対話の重要性を忘れないでほしい。

